

令和元年洞爺湖町教育委員会第3回臨時会会議録

日 時	令和元年8月29日(木) 13:30より
場 所	役場第1委員会室
出席委員	教育長 皆見 亨 委員 岩原 義美 委員 吉田 聡 委員 来栖 由喜 委員 岡本 里佳
欠席委員	無し
説明員	教育次長 天野 英樹 教育参与 永井 宗雄 社会教育課主幹 野呂 圭一
会議録調整者	管理課主幹 末永 弘幸
傍聴者	無し
日程第1 【開会宣言】	<b>皆見教育長</b> 開会を宣言する。(13:30)
日程第2 【前回会議録の承認】	各教育委員の署名により、承認を確認。
日程第3 【教育長諸般の報告】	<b>皆見教育長</b> 7/25 教育委員会議(役場会議室) 教科用図書第10・第19採択地区合同特別委員会(室蘭市役所) 虻田地区幼児保育における本町保育所保護者を対象とした説明会 (本町保育所) 7/26 洞爺地区戦没者追悼式(洞爺地区慰霊碑前) 虻田地区幼児保育における入江保育所保護者を対象とした説明会 (入江保育所) 7/27 聖徳太子祭典(とうや水の駅前特設会場) 7/29 洞爺湖町中学生箱根町訪問使節団出発式(役場正面玄関前) 洞爺湖有珠山ジオパーク再認定審査好評(役場会議室) 英国青年ボランティア送別会(洞爺総合センター) 7/30 虻田地区幼児保育における町民説明会(役場会議室)

<p>日程第4 【報告事項】 ・報告第14号</p>	<p>北海道・北東北の縄文遺跡群、推薦候補選定セレモニー (役場ロビー)</p> <p>7/31 洞爺湖町中学生箱根町訪問使節団帰着式(役場正面玄関前)</p> <p>8/1 通学路等安全推進会議(役場会議室で挨拶後、現地確認)</p> <p>8/2 友好都市三豊市交流フレンドリーツアー出発式 (洞爺総合支所玄関前)</p> <p>8/5 友好都市三豊市交流フレンドリーツアー到着式 (洞爺総合支所玄関前)</p> <p>景観計画庁舎内検討委員会(役場会議室)</p> <p>8/6 箱根町中学生親善訪問使節団歓迎式(役場会議室) 地域未来塾、夏休み特別企画(役場会議室)</p> <p>8/7 虻田地区戦没者追悼式(虻田ふれ合いセンター) 箱根町就学生親善訪問使節団解団式(洞爺観光ホテルロビー)</p> <p>8/8 教科用図書第10地区協議会(室蘭広域センタービル会議室)</p> <p>8/10 大原自治会開拓祭り(大原ふるさと会館駐車場)</p> <p>8/17 虻田神社神輿渡御駐祭(役場駐車場)</p> <p>8/19 教育行政評価委員会(役場会議室)</p> <p>8/20 教育行政評価委員会(役場会議室)</p> <p>8/21~22 道南ブロック教育長研修会(函館市湯の川)</p> <p>8/23 友好都市三豊市交流フレンドリーツアー歓迎会(洞爺総合センター)</p> <p>8/26 友好都市三豊市交流フレンドリーツアーお別れ会 (洞爺総合センター)</p> <p>人づくり育成事業選考審査委員会(役場会議室)</p> <p>8/27 定例校長会(役場会議室) 胆振管内公立小中学校教職員人事推進会議 (室蘭広域センタービル会議室)</p> <p>日程第4、報告事項に入ります。報告第14号、社会教育課所管の各種事務事業の取り組みについて、事務局から報告を受けます。</p> <p><b>永井教育参与</b></p> <p>報告第14号、社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について、報告するものです。1点目です。北海道北東北の縄文遺跡群の世界文化遺産登録推薦候補選定について、令和元年7月30日文化庁にて文化審議会世界文化遺産部会が開催され、今年度の国連教育科学文化機関ユネスコに推薦する候補として北海道北東北の縄文遺跡が選定されました。昨年推薦候補として一度選定をいただきながら、世界自然遺産登録を目指す奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島との兼ね合いから、国内推薦とはならなかった経緯はありますが、構成する関係自治体が引き続き連携しながら取り組んできただけに、推薦候補選定の一報には関係者一同も感慨深いものがあります。今回の結果を受け、世界遺産登録に向けましては、審査機関である国際記念物遺跡会議(イコモス)の厳</p>
------------------------------------	---

しい審査などへの対応など、諸課題は少なくありません。今後は関係機関等と協働しながら世界遺産登録の実現を目指すとともに、当町において現在整備中の高砂貝塚の他、貝塚館の改修など周辺整備を進め、縄文文化という、約1万年もの長きにわたって営まれた、高度に発達・成熟した世界史上希有な先史時代の文化を町内外へ広く発信するなど全力で取り組んでまいります。

2点目です。洞爺湖町スポーツ推進委員の委嘱について、スポーツ推進委員の欠員に伴い、8月1日付けをもって次の方に委員を委嘱しました。氏名は、秦野孝慎さんです。任期は、令和元年8月1日から令和2年3月31日までとなっています。3点目です。プログラミング教室の開催について、8月6日、洞爺湖町役場防災研修ホールを会場に、地域未来塾の夏休み特別企画としてプログラミング教室を開講しました。この教室は文部科学省が2020年の実施に向けて準備を進めている小学生に向けたプログラミング体験等を通して理解を深めるための教育の情報化推進の一環として実施したもので、未来塾の児童の他、学校教諭、地域の方々が参加してロボットやドローンの操縦を楽しみました。会場では特に洞爺湖町の入江・高砂貝塚を含む北海道・北東北の縄文遺跡群が国連教育科学文化機関（ユネスコ）に推薦する候補に決定されたことから構成する17遺跡の大きな地図上でドローンを操作し、着陸させた遺跡ごとの紹介や解説を行うなど、楽しみながら学習することで世界遺産登録への機運を高める取り組みとなりました。なお、この教室の開催にあたり東京並びに苫小牧の企業に多大なる御理解と御協力を賜り学習の機会を提供できましたことに、心より感謝を申し上げます。以上です。

#### **皆見教育長**

ただいま事務局から、社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について、3点報告がありました。質疑があればお受けしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

#### **来栖委員**

プログラミング教室は何名の参加でしたか。

#### **野呂主幹**

参加者が20名で、教育委員会職員等を含めると35名の参加をいただきました。

#### **岡本委員**

1番の「北海道・北東北の縄文遺跡群」ですけれども、私と子供もドローンを飛ばして、今自分がどの遺跡に行きたいかを選んで、その遺跡について、学芸員の方から説明をしていただき、いろいろなプログラミングのことやその遺跡も知ることができまして、子供たちもすごく喜んでいました。

#### **野呂主幹**

ありがとうございます。

#### **皆見教育長**

質疑をお受けしたいと思いますが、よろしいですか。

《「はい」という人あり》

日 程 第 5  
【 議 決 事 項 】  
・ 議案第 20 号

それでは、以上のとおり報告を受けたということでご了承をいただきました。日程第5、議決事項に入ります。議案第20号、令和2年度から使用する小学校用教科用図書についてを議題とします。議案の説明を求めます。事務局お願いします。

#### 天野教育次長

議案第20号です。令和2年度から使用する小学校用教科用図書について、洞爺湖町立学校管理規則第34条の規定により、教科用図書第10採択地区教育委員会協議会の決定に基づき、次のとおり採択することについて、議決を求めるものです。学校管理規則の第34条についてご説明します。教育教科書等の採択第34条、小学校及び中学校において使用する教科書は、胆振地区の教科書採択教育委員会協議会の決定に基づき、委員会が採択するという一方で、洞爺湖町教育委員会については、第10採択地区にて共同で行っていますので、第10採択地区で選定されたものを、構成する市町教育委員会は同じものを採択するということになっていますので、その決定に基づき、今年8月8日に令和元年度第2回教科用図書第10採択地区教育委員会協議会が開かれて、議案書に記載の教科書が選定されましたので、この選定に基づき、教科書を採択することの議決を求めるものです。内容について読み上げます。国語は光村図書出版、採択理由は、題材に入る前に、学習の目標とこれまでの学習と関連する既習の題材が明記され、また、題材の後には、学習課程が一目で分かるように記載されている手引きがあり、考えや思いを伝え合う活動が必ず盛り込まれている。書写は、光村図書出版、採択理由は、学習過程を分かりやすく示し掲載したり、教材ごとに学習内容についての自己評価欄を設けたりするなど、児童が主体的に取組むことができる工夫がなされている。社会は、教育出版、採択理由は、自然災害にかかわる学習において、北海道の地域特性を考慮した内容を取り上げるなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。地図は帝国書院、採択理由は、国内における北海道の位置関係、北海道全体の地形や主な産業、交通網の様子などを掲載し、北海道の地域特性を考慮した内容を取り上げるなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。算数は、新興出版社啓林館、採択理由は、基礎、基本の定着を図る学習活動や自主的に取組むことができる内容を掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。理科は、東京書籍、採択理由は、学習課題を設定し見通しを持たせるとともに、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられるなど、子どもたちが主体的・対話的に学びに向かうことができるよう工夫がなされている。生活は、教育出版、採択理由は、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、プログラミング的思考能力を育成する工夫がなされている。音楽は、教育出版、採択理由は、教材曲や学習活動に則した解説を示したり、北海道に関わりのある民謡を取り上げるなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。図画工作は、日本文教出版、採択理由は、児童の学習意欲を高めるため、児童が実際に手や足を動かし試しながら発想を広げることができるなどの工夫がなされている。家庭は、開隆堂出版、採択理由は、生活のさまざまな場面を想起すること

ができることや家庭学習へつなげたりすることができる内容の掲載がされており、児童が主体的に学習に取り組むことができる工夫がなされている。保健は、東京書籍、採択理由は、身に付けた正しい知識を身につけさせることにより日常でも役立つなど、学習意欲や関心を高めるための工夫がなされている。英語は、開隆堂出版、採択理由は、中学校への系統的・発展的な学習が期待できること。ペアやグループ活動によるコミュニケーションを図る機会を設けたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。道徳は、光村図書出版、採択理由は、導入における発問により、主体的に考え、話し合う、また学習を次につなげるなど児童が主体的に学習に取り組むことができる工夫がなされている。以上です。なお、採択理由については、第10採択地区の選定理由と同じ理由となっています。また、発行者については、前回から変更となっているのは算数で、東京書籍から啓林館となっています。英語は令和2年度から新たに教科化となりますので、初めての採択となります。それ以外の教科書については、今使用している教科書と同じ発行者です。以上です。

#### 皆見教育長

令和2年度から使用する小学校用教科用図書について、教科用図書第10採択地区で決定の選定理由により、発行者の決定について、議決をいただきたいという説明でした。発行者に変更がありました教科は、算数がこれまでの東京書籍から啓林館へ、英語は来年度から新たな教科となり、発行者は開隆堂出版です。

質疑をお受けしたいと思いますが、よろしいですか。

《「ありません」という人あり》

それでは、議案のとおり議決することにご異議ありませんでしょうか。

《「なし」という人あり》

異議なしと認めます。

議案第20号、令和2年度から使用する小学校用教科用図書については、原案のとおり可決されました。

次に、議案第21号、令和2年度に使用する中学校用教科用図書について、議案の説明を求めます。事務局お願いします。

#### 天野教育次長

議案第21号です。令和2年度に使用する中学校用教科用図書について、洞爺湖町立学校管理規則第34条の規定により、教科用図書第10採択地区教育委員会協議会の決定に基づき、次のとおり採択することについて、議決を求めます。中学校教科用図書について、令和3年度から新たな教科書となりますので、令和2年度のみ、現在使用の教科書をそのまま採択するという一方で、令和元年度第2回教科用図書第10採択地区教育委員会協議会の選定を受けましたので、この採択理由についても、前回の平成27年度と同じ採択理由で、令和2年度の1年間使用するというものです。内容について読み上げます。国語は、光村図書出版、採択理由は小学校との接続を考えると生徒が学習しやすい。生徒が学びを確かめたり、見通しをもって学習を進めたりできるように

・議案第21号

なっている。「学習の窓」で学習したことを振り返るなど、主体的に学習できる工夫がされている。書写は、光村図書出版、採択理由は国語との関連を図った指導が行いやすい。単元ごとの学習の見通しがもてるように工夫されている。社会(地理的分野)は、教育出版、採択理由は、北方領土や竹島、尖閣諸島など、我が国固有の領土を理解させる記述が充実している。アイヌ民族の歴史や文化を理解しやすい内容となっている。地図は、帝国書院、採択理由はアイヌ語に由来する地名の資料を掲載するなど、北海道に対する興味・関心を高める資料が充実している。公民や歴史の学習にも活用できるよう、工夫されている。社会(歴史的分野)は、教育出版、採択理由は、アイヌの人たちの歴史や文化について「シャクシャイン像」の写真を取り上げたり、江戸時代末期から明治時代にかけての北海道の開拓の様子を表す写真を取り上げたりするなど、学習意欲を高める工夫がされている。社会(公民的分野)は、教育出版、採択理由は、駒大苫小牧出身の田中将大を掲載し、北海道の事例から、国際社会で主体的に生きることに関心をもつよう工夫されている。「読み解こう」や「公民の窓」を設け、主体的に学習できるよう工夫されている。数学は、東京書籍、採択理由は、学習の定着状況に合わせて選択して取り組むことができる課題を設定するなど、基礎・基本を確実に習得できるよう工夫されている。「数学の窓」で学習内容に関連した話題を掲載するなど、生徒の学習意欲を高めるよう工夫されている。理科は、東京書籍、採択理由は、有珠山防災マップを紹介するなど、胆振管内に関連の深い内容で、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。「チェック」や「確かめと応用」など、自立的学びを喚起し、学習を概観できる工夫が見られる。音楽(一般)は、教育出版、採択理由は国歌「君が代」の扱いが充実している。鑑賞教材で紹介文を扱うなど、言語活動の充実が図られている。音楽(器楽)は、教育出版、採択理由は、見開きのページが充実している。リコーダーの運指表やギターのコード表を掲載するなど、主体的に学習する工夫がなされている。美術は、光村図書出版、採択理由は、日常生活に関連づけ、様々な題材が取り上げられており、免許外の教員にも指導しやすい。生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。技術は、開隆堂出版、採択理由は、栽培等で北海道に関連した作物を扱うなど、学習意欲を高める工夫がなされている。安全マークがつけられて作業の安全が配慮されるなど、生徒が学習しやすいよう工夫がなされている。家庭は、開隆堂出版、採択理由は、技術科との関連を図った指導が行いやすい。環境や防災にも配慮され、四つの内容の記述が充実しており、主体的に学習できるよう工夫されている。保健体育は、学研教育みらい、採択理由はバスケットボールの練習方法など、進んで運動に親しめるよう、工夫されている。オリンピック、パラリンピックと自分の関わりを考えさせるなど、多様な内容で主体的学習ができるよう工夫されている。外国語は、開隆堂出版、採択理由は、英語の歌を取り上げたり、伝統文化を取り上げるなど、学習の意欲化を図る工夫がなされている。巻末に「英語でできることになったリスト」(キャン・ドゥリスト)などを設け、学習を振り返ることができるよう工夫されている。以上です。

・議案第22号

### 皆見教育長

中学校用教科用図書につきましては、現在使用の教科書をそのまま1年間、令和2年度に使用するという事です。

質疑をお受けしたいと思いますが、よろしいですか。

《「ありません」という人あり》

それでは、議案のとおり議決することにご異議ありませんでしょうか。

《「なし」という人あり》

異議なしと認めます。

議案第21号、令和2年度に使用する中学校用教科用図書については、原案のとおり可決をされました。

次に、議案第22号、令和元年度（平成30年度対象）教育委員会の点検・評価についてを議題とします。議案の説明を求めます。事務局お願いします。

### 天野教育次長

議案第22号です。令和元年度（平成30年度対象）教育委員会の点検・評価についてです。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき教育委員会の管理及び執行状況の点検・評価を行い、別添のとおり報告書を作成したので、これを議会に提出するとともに、公表について議決を求めるものです。これについては、別紙、令和元年度（平成30年度対象）教育委員会の点検評価に基づきご説明します。また、教育行政評価参考資料も配布していますのであわせてご覧ください。1ページから説明します。「I はじめに」、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が、平成20年4月1日から施行され、この改正法では、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価が教育委員会に義務付けられています。現在まで毎年1回、評価をしています。「1 点検及び評価とは」、（1）点検及び評価の目的として、「①政策や行政活動（施策・事業）の質を向上させること。」、「②行政の説明責任を果たすこと。」、「③教育行政に関する町民満足度を高めること。」この3つを目的としています。「2 洞爺湖町教育委員会の点検及び評価」についてです。評価の流れですが、図のとおり担当部局の自己評価、点検、事業評価、達成度評価、課題と対応方向、評価委員による意見提言等を今年度も3名で構成される行政評価委員の方に、点検及び意見をいただいています。評価、点検をいただいたものを、本日の教育委員会議で議決いただいた後、議会に報告をして、ホームページで公表するという流れになっています。2ページです。「（5）達成度評価基準」について、AからDの5段階評価となっていて、それぞれの事務事業評価シートごとに評価をしています。3ページです。「II 教育委員会の活動状況」については、教育委員会議の開催状況を議案番号、案件を記載しています。6ページについては、教育委員の皆さんの活動の主なものを記載していますが、4月の小・中学校及び高校の入学式から翌年3月の卒業式までの主なものを記載しています。8ページ以降の事務事業評価シートごとに説明します。今年度は29シートありまして、達成度Aが28事務事業、達成度Bが1事務事業の評価結果となっています。事務事

業評価シートの主な内容について説明します。8ページ、推進項目I、幼児期の保育及び教育の推進、主要施策ア、子育て支援の充実、取り組みの概要は、①保育所及び私立幼稚園の利用者負担額の軽減対策の実施、②一時預かり事業、③町内私立幼稚園への制度に基づく支援、それぞれ継続の内容です。①は昨年度も実施した事業で、事業費は30年度1,236万8千円です。特定財源は、その他1,236万8千円で事業費と同額です。この財源については、ふるさと納税でいただいた寄附金を充当しています。達成度についてはA、予定どおり実施できた事業です。課題と対応方向の中で、②一時預かり事業の課題について、1日利用者数の増加で、対応方向は、利用者が増加傾向にあるが、保育士の確保が困難であり、現行の体制においては、利用者数を1日2名の定員を維持せざるを得ない状況であることから、現行を維持するものです。評価委員の意見・提言は、子育て支援充実のため、継続して事業を進めていただきたいという、意見、提言をいただいています。9ページです。主要施策、イ保育所の運営充実で、①幼・保・小連携の充実の活動推進で、実施状況については、小学校の朝読書の時間を利用して、新1年生を対象に保育所長が読み聞かせなどを行い、次年度に向けて連携を図るための検討を行ったということで、30年度に学校との調整をして、実際に活動に移したのは、31年度から実施したものです。評価ですが、平成30年度より適用される新保育所保育指針に伴い、保育士及び幼稚園教諭の合同研修会を行い、認識の共有が図られたということで達成度A、予定通り実施ができた事業です。課題と対応方向は継続実施で、今後も学校・幼稚園・保育所、教員・幼稚園教諭・保育士相互の交流を通じ、就学に向けて必要な連携を図っていくというものです。評価委員からの意見・提言は、小学校への就学がスムーズにいくよう幼・保・小連携の充実に努めていただきたいということです。10ページです。主要施策、ウ子育て支援センター事業の推進、子育て支援体制の連携で、継続事業です。実施状況については、今年度も親子ふれあい遊び、お父さんと一緒に七夕飾りを作ろうを開催し、父親も参加しやすい日曜開催を取り入れて実施ということで、2年続けてお父さんにも参加できる事業取り入れたものです。事業費は決算額は495万8千円で、国、道からの補助金が334万4千円です。評価は、1番下に記載の利用延べ人数、保護者、乳幼児811名となっています。達成度はA、予定通り実施できた事業です。課題と対応方向の課題は、特になしで、今後も継続していきたいということで、評価委員の意見・提言は、関係機関との連携のもと、今後とも利用者のニーズを把握しながら、事業の充実に努めていただきたいというものです。11ページです。主要施策エ、保育施設の整備で、取り組みの概要は、①洞爺保育所の改築整備、②本町保育所と入江保育所の統合移築の検討です。実施状況については、①の洞爺保育所の改築整備については、予定どおり新築、完成してしまして、事業費は2億2,834万8千円で、特定財源が2億2,830万円で過疎債の起債事業で実施をしたものです。達成度はA、予定通り実施できた事業です。課題と対応方向については、①保育士の確保で、0歳児保育の実施など、サービスの拡充を実施。全国的な保育士不足の状況で

はあるが、何とか保育士の確保を図っていく。②本町保育所と入江保育所の統合、移築の検討については、開設場所の確保等で、開設場所を含めた統合地区の検討ということです。評価委員の意見・提言については、虻田地区における幼児教育（保育）の今後を見据え、本町保育所と入江保育所との統合を進めていただきたいというものでした。12ページです。推進項目Ⅱ、学校教育の推進、主要施策ア 学校運営の充実（取組みその1）です。取り組みの概要については、①コミュニティ・スクールの虻田地区での実施②小中乗り入れ授業の実施③ICT（タブレット）活用授業の調査研究ともに継続です。実施状況①平成29年度より洞爺地区でコミュニティ・スクールを導入し、虻田地区においては、平成30年度より導入し、各3回協議会をそれぞれ実施しています。達成度はA、予定通り実施ができた事業で、課題は、3つと特にありません。評価委員の意見・提言については、今後とも小・中連携のもと、事業を進めていただきたいというものです。13ページです。ア 学校運営の充実（取組みその2）、取り組みの概要、①教育指導専門員の配置②全国学力・学習状況調査③学習支援員の配置、それぞれ継続の事業です。達成度Aで、予定通り実施できた事業で、課題と対応方向について、①教育指導専門員の配置は、特に課題なしです。②全国学力・学習テストは、全国学力・学習状況調査の結果の活用、③学習支援員の配置は、学力の向上で、それぞれ課題となっています。対応方向については、①引き続き配置を継続する②学力向上に向けた取組として、全国学力・学習状況調査における現状の傾向や課題の把握、分析をはじめ各学校の取り組みの充実を図るため継続して実施する。③引き続き学習支援員の配置を行っていくとしています。評価委員の意見・提言は、学習支援員の確保を図りながら事業を進めていただきたいというものでした。14ページです。ア 学校運営の充実（取組その3）、取り組みを2つ載せていますが、②中学生実用英語検定等検定料の助成は、新規で30年度に初めて実施をしたものです。実施状況については、②実用英語技能検定及び日本漢字能力検定料について、当該年度の1回分を助成していき、受験者数イ実用英語技能検定28名で受験率19%、ロ日本漢字能力検定39名、受験率27%の状況です。事業費は15万7千円です。達成度A、予定どおり実施できた事業です。課題と対応方向は、①独自学力検査の実施については、学力の向上、②中学生実用英語検定等検定料助成は、参加者の増及び学力の向上で、対応方向は①町独自の「標準学力検査（全面改訂版）」の実施など、引き続き支援していく。②初めて制度化して実施したが、参加者が少なかったことから、参加者の増を図るとともに、学習意欲の向上を図り、学力の向上につなげる取り組みとしては有効と思われることから引き続き実施をしていくという対応方向としています。評価委員の意見・提言は、家庭学習の大切さについての共通理解のもと、学校、家庭等が連携し、学力向上に努めていただきたいというものでした。15ページです。イ特別支援教育の充実で、取り組みの概要、①介護員・支援員の配置②指導計画・教育支援計画の充実ともに継続です。達成度はA、おおむね予定通り実施してきた事業です。課題と対応方向については①介護員・支援員の確保②支援

ファイルの活用促進で、対応方向は授業を円滑に行うため、適正な配置を考慮しながら継続して配置をする。②支援ファイルの活用促進は、活用の充実を図るため、保護者・関係機関と連携・協議して進めていくとしています。評価委員の意見・提言は、介護員・支援員の確保を図りながら、特別支援教育の充実に努めていただきたいというものです。16ページです。ウ 特別教育等の充実、取り組みの概要は、①環境教育、防災教育の推進、②道徳教育の充実で、継続の事業です。実施状況の②小学校は平成30年度から特別の教科「道徳」として本格実施された。また中学校は平成31年度が本格実施の予定となっていて、本年度から実際されています。達成度は、A、予定通り実施できた事業です。課題と対応方向は、①課題は、避難所開設体験学習の実施内容等の検討②道徳に関しては、教科化に向けた検討で、対応方向は①避難所体験学習は、実施内容の更なる充実を図る。②道徳教育の充実は、引き続き積極的な研修参加を促すなど、道徳教育の充実を図るとしています。評価委員の意見・提言は、児童生徒の豊かな心を育むなど、道徳教科の充実に努めていただきたいというものでした。17ページ、主要施策エ、児童生徒の健康及び安全の充実（取組その1）①体力向上の推進、②フッ化物洗口事業、③いじめ、問題行動、不登校等への対応の3事業でそれぞれ継続事業です。全体的な評価として達成度A、予定どおり実施できた事業です。課題と対応方向は、①、②は特になしですが、③いじめ、問題行動、不登校等への対応は、心理テストの回数の見直しを課題として載せていまして、対応方向は、いじめに関しては、当町独自のいじめ防止方針の策定を進める。またスクールカウンセラーの派遣については、今後も継続する。心理テストについては、年2回として実施していくということで、昨年度まで一部学校で、1回しか実施していませんでしたので、2回することで最も効果が出るということで、学校と話をしています。評価委員の意見提言は、関係機関等が連携し、いじめ、不登校等に対する取り組みを進めていただきたいというものでした。18ページです。エ児童生徒の健康及び安全の充実（取組その2）①通学路の安全確保、②各種安全教室等の開催について、実施状況について①通学路等安全推進会議による通学路危険箇所等の合同点検を実施し、その結果を町ホームページへ掲載しています。先ほど、ホームページへ掲載した内容を追加資料としてお配りしています。通学路等の危険箇所一覧というのが、A3サイズで2枚目になります。対象の箇所について点検を実施しています。この通学路等安全推進会議の構成員について、伊達警察署、国土交通省室蘭開発建設部、北海道胆振総合振興局室蘭建設管理部、町内の各小・中学校の管理職、各小中学校のPTA会長、町内3地区にある交通安全協会虻田、温泉、洞爺各地区の交通安全協会の会長、役場からは、交通安全を担当する住民課、町道等を管理する建設課、通学路等を管理する教育委員会管理課の各担当に参集をいただき、バスに便乗し、皆さんに点検をしていただきました。その点検の状況や場所について載せています。協議をいただいた箇所について、改善できるものは、それぞれ改善をするということで、今年度については、8月1日に既に点検を実施しています。それについては今、整理をしています。

整理をした後、ホームページへ掲載することとしています。達成度はAで、課題は、2つとも特にありません。評価委員の意見提言については、今後とも関係機関が連携し、事業の充実に努めていただきたいというものでした。19ページです。主要施策オ高校教育の充実、①虻田高校への支援、②今後の在り方の協議について、継続事業です。②今後の在り方の協議について実施状況は、虻田高校未来づくり推進会議により振興策の検討を行ったということで、達成度B、達成度は比較的高いとしています。①虻田高校への支援についての課題については、入学者増につながる支援策、②提言書としてまとめた意見を次へつなげる活動の推進が課題となっています。対応方向については、①、②ともに虻田高校未来づくり推進会議で虻田高校の魅力化の発信及び入学者増となるような支援策を検討・協議し、提言としてまとめた意見を今後につなげていくとしています。評価委員の意見提言は、虻田高校の未来づくりに関する提言書に沿った事業の取組を進めていただきたいというものでした。現在の生徒数は、1年生が13名、2年生が14名、3年生が15名の状況なので、入学者の実績を踏まえて、達成度はBということで、Aという達成度とはしていません。提言を受けた支援策については、今年から始めていますので、少しでも次年度以降の生徒数が増加傾向となれば、達成度はAということになると思います。続きまして、20ページです。主要施策カ学校施設の整備、取り組みの概要は、前年度と同じ、①学校施設の維持・管理の推進です。事業費は1,449万7千円です。老朽化していますので、修繕費が高んでいる状況です。達成度はA、当初予算計上分及び緊急を要する修繕は予定どおり実施できたということで、課題と対応方向は、老朽化施設の改修、対応方向は学校施設の長寿命化計画等、老朽化対策を計画的に行っていく必要があるということで、評価委員の意見提言は、安全安心な学校施設の維持管理に努めていただきたいというものでした。この長寿命化計画については、昨年度に策定しています。次年度以降の施設の長寿命化をどうしていくのかの順番について、保育所の統合移築について、一部小学校が関係しているので、順番を決めて、今後取り組んでいくことになると思います。相当な金額の支出となりますので、財政当局、町長部局とも相談しながら順番を決めて進めていきたいと考えています。21ページです。主要施策キ、地域交流事業の充実、取り組みの概要については、①箱根町との中学生交流、②洞爺湖子どもフェスティバルで、2つとも継続事業です。達成度はAで予定通り実施できた。課題は①②ともに特になしです。評価委員の意見提言については、洞爺湖子ども文化芸術文化フェスティバルは、今後とも地域の方々に観ていただけるよう取り組みを進めていただきたいというものでした。22ページです。ク進学支援の充実、取り組みの概要は①育英資金貸付及び給付事業で継続の事業です。実施の状況は、入学時給付金は、平成30年度、高校生1名、専門学校1名、大学生1名の計3名、学資金は、平成30年度が公立高校3名、私立高校1名、専修学校、大学3名の実績です。入学時一時金は、専修学校・大学1名の実績です。事業費は178万8千円で、特定財源、その他178万8千円です。これは育英資金基金がございまして、その

基金からこの事業に特定財源として充てています。達成度はA、予定通り実施できた。課題と対応方向について、課題は、貸付条件等の緩和、対応方向は、学資金については、ふるさと納税の指定寄附により資金の確保はできている。貸し付けの利用は少ないがさらに有効に運営していくということで評価委員の意見提言は、適正な運用のもと今後とも有効な活用を図りたいというものでした。23ページ、ケ学校給食（施設等）の充実、取り組みの概要は、①給食センターの管理・運営②食育活動の充実は継続ですが、③給食費改定の検討については、実際に検討し決めて、本年度から実施したところです。評価の③をご覧ください。令和元年度に向けて新給食費小学校・中学校ともに15円増の改定を行いました。小学校は245円から260円へ。中学校は285円から300円へ、それぞれ1食分の料金について、ご了解をいただき本年度から改定しています。達成度はA、予定どおり事業実施ができたということで、課題と対応方向については、③給食費について、今後の物価上昇等による食材費の影響ということで、対応方向は今後の物価上昇等による食材費の影響は懸念されるが、当面は改定された給食費の中で、安心安全でおいしい充実した給食提供に努めるとしてしています。評価委員の意見提言については、今後とも安心安全でおいしい充実した給食提供に努めていただきたいというものでした。管理課及び給食センターが所管する事務事業評価シートの内容については以上です。

#### 永井教育参与

続きまして24ページです。推進項目Ⅲ、社会教育の推進、主要施策ア乳幼児事業の充実で、取り組みの概要は、①ブックスタート事業 ②子育てメゾット形成事業 ③子育てセミナーの活動支援の3点で、いずれも継続の事業です。子育て中の親子の触れ合いの時間を大切にする場所の提供やその時間が大切ということの情報発信、子育て中のお母さん同士の情報交換の場を提供することができました。達成度はA、予定どおり実施できました。課題と対応方向は、①贈呈後のフォローアップ、これはブックスタートということで読み聞かせや本の贈呈を行っていますが、その後、読書の家の活用の案内など、継続性のある利用促進を図りたいと考えています。②事業の推進は、情報の発信による啓発機会の充実で、家庭教育における、事業の活用を図りたいと考えています。評価委員の意見提言については、乳幼児期は、大切な時期でもあり、事業の実施においては今後も継続して取り組んでいただきたいとの意見でした。25ページです。主要施策イ少年事業の充実（取組その1）です。取り組みの概要は①洞爺湖GENKIDS②ボードゲームなど電子機器を使用しないゲームの奨励③友好都市「三豊市」との少年交流事業の3点で、いずれも継続事業です。事業費は洞爺湖GENKIDS、30年度決算額7万1千円で特定財源、国道の補助金4万6千円です。③友好都市「三豊市」との少年交流事業は、30年度決算額271万円。特定財源その他は10万4千円でツアーの参加料です。評価は②ボードゲームの推進で、放課後対策の一環として母と子の館において幅広く遊びの時間を提供する母子の日という事業を実施することができました。達成度はA、予定通り実施ができました。課題と対応方向ですが、③フレ

ンドリーツアーですが、相互訪問時期の変更ということで、フレンドリー訪問を夏季に変更して実施ということで長期休み中に変更をしています。3年程度試行したうえで、課題等の検証をしていくとしています。評価委員の意見提言は、三豊市との少年交流事業については、両市町でよりよい実施時期を見極め、相互の一層の友好に向けて取り組んでいただきたいとの意見でした。26ページ、イ少年事業の充実（取組その2）です。取り組みの概要、④放課後児童健全育成事業、⑤学校支援地域本部事業、⑥学習支援事業「地域未来塾」の実施、それぞれ継続の事業です。事業費は、④放課後児童健全育成事業、学童保育ですが30年決算額1,584万8千円、特定財源で国、道の補助金が919万9千円、その他208万1千円については、保育料です。⑤学校支援地域本部事業については、30年度決算額、1万円、特定財源、国の補助金が6千円です。⑥地域未来塾は、30年度決算額184万9千円で、国、道の補助金が87万4千円です。達成度はA、予定どおり実施ができました。課題と対応方向は④は支援員の体制確保ということで、支援員の確保策を検討してまいります。⑤は登録ボランティアの活用ということで、全ての登録ボランティアの実践活動に向け関係機関との連携を強化してまいります。⑥は指導員の体制確保ということで指導体制の強化、指導員の確保策を検討してまいります。学童の支援や地域未来塾で指導をいただいている方について、現状では対応できております。今後について、体制の確保が必要ということを課題としています。評価委員の意見提言については、支援員、指導員など、今後の人材確保に取り組み、事業内容の充実に努めていただきたいとの意見でございました。27ページ、主要施策ウ青年・成人教育の充実、取り組みの概要について、3点ですが、③書道教室の開催については、30年度からの新規事業です。実施状況ですが③の青年成人向けに当町出身の書道家を迎えて教室を開催しています。延べ50名の参加をいただきました。事業費①は30年度決算額14万1千円、②は19万9千円、③は2万円となっています。評価については、③の新規書道教室は文化的教室の開催も好評で、教室参加者の作品を文化祭会場への展示につなげることができ、達成度はA、予定通り実施ができました。課題と対応方向で①の課題は、成年年齢を引き下げる民法の改正により、2022年施行に向けた成人式の実施内容等の見直しを行ってまいります。②の課題は、活用の推進で男女齢を問わず健康効果も期待できるニュースポーツの推進を図ってまいります。評価委員の意見提言は、各教室の開催においては、町民のニーズに応じた事業に努めていただきたい。また今後の成年年齢の引き下げに伴う事業内容の見直しについて、継続して取り組んでいただきたいとの意見をいただきました。28ページ、主要施策エ、女性事業の充実、オ男女共同参画事業の充実の取り組み概要については、①女性団体の活動支援、②胆振女性リーダー養成研修参加、③きずな学級の開催でこれも継続事業です。事業費は①女性団体への活動支援、30年度決算額22万円、②胆振女性リーダー養成研修は4万8千円となっています。評価については、③きずな学級については、防災をテーマに実施しています。胆振東部地震によるブラックアウトなどもあり、いざとい

うときの対処方法や停電の際に使える非常食の作り方などを学ぶ機会となりました。達成度はA、管内での震災に伴い、一つの大会が中止を余儀なくされましたが、通常の事業の実施は予定通りできました。中止となりました事業は、北海道東北婦人大会及び全道婦人大会について、洞爺湖町で開催される運びでしたが、地震の発生から、大会の開催が直近だったということもあって、やむを得ず中止としています。課題と対応方向は、①後継者の育成ということで会員の高齢化に伴う後継者の育成、②は参加者の確保で、継続した参加者の確保、参加者については、男女問わず参加が可能となりました。③は、事業の充実ということで、参加者の増、男女共同参画の醸成につながる内容の充実について図ってまいります。評価委員の意見提言は、女性団体の後継者育成に向けた活動支援に努めていただきたいとの意見をいただきました。また、きずな学級は、引き続き事業内容に工夫を凝らし、参加者の増に向けて取り組んでいただきたいとの意見をいただいています。29ページです。主要施策カ、高齢者事業の充実で、取り組みの概要は、いきいき学園の取り組みで継続事業です。実施状況は、年間10回開催していきまして、参加延べ人数が206名です。事業費は、30年度決算額23万5千円、達成度はA、予定通り実施できました。課題と対応方向で、課題は、新規参加者の増を図ることで、男性参加者も徐々に増えてきており、事業の周知を継続するとともに、企画内容の充実を図ってまいります。評価委員の意見提言について、事業内容については引き続き、参加者のニーズに応じて、高齢者事業を実施するほか、新規登録者の増につながるよう企画内容の充実に取り組んでいただきたいとの意見をいただきました。推進項目IV、芸術文化の振興、主要施策ア、芸術文化活動の充実です。取り組みの概要については2点、①各種発表会等の開催・支援、②美術見学の機会の提供でいずれも継続事業です。事業費は、洞爺湖町文化団体協議会活動運営事業で30年度決算額30万円、とうや文化協会活動運営事業で30年度決算額10万円、美術見学旅行は、30年度2万9千円で、特定財源その他は参加料です。評価については①虻田地区の総合文化祭及び洞爺地区の町民文化祭ともに相互協力のもとで開催することができました。町民ロビー展は町内各団体や個人による作品発表の場となっております。②の美術見学会の実施に伴い、参加者からも好評で観賞機会の提供が図られました。達成度はA、予定通り実施ができました。課題と対応方向については、①課題として人材の発掘活動の支援ということで、発表の場の提供、個人団体の活動支援を行ってまいります。評価委員の意見提言については、芸術文化活動の一環として、洞爺湖芸術館などの活用を含めた事業を取り入れるなど、地域文化資源の有効活用を図り、一層の芸術文化の推進に取り組んでいただきたいとの意見をいただきました。31ページです。主要施策イ、入江・高砂貝塚保存整備・運営の充実（取組その1）です。取り組み概要の3点、①高砂貝塚の保存整備事業、②縄文まつり等企画事業、③史跡めぐりウォークラリーは、いずれも継続事業です。事業費①は30年度決算額2,347万9千円、特定財源については、国道の補助金で1,718万6千円です。その他は310万円で過疎債です。②縄文まつり等企画事業に

については、30年度決算額12万9千円です。達成度はA、予定通り実施ができました。課題と対応方向、①は計画に基づく整備で、年次計画による周辺施設を含めた整備に取り組んでまいります。②は参加者数の増で、縄文への理解を深める内容の充実と周知を図ってまいります。評価委員の意見提言については、各種事業の実施により、町の文化の振興を図るとともに、さらなる充実に向けて取り組んでいただきたいとの意見をいただきました。32ページ、主要施策の入江・高砂貝塚保存整備の充実（取組その2）です。取り組みの概要については、①縄文遺跡群の世界遺産登録推進事業で、継続事業です。事業費は、30年度決算額、縄文遺跡群の推進事業で負担金ですが、30年度決算額39万1千円となっています。達成度はA、予定通り実施ができました。課題と対応方向については、推薦候補の選定ということで、入江・高砂貝塚を含む北海道北東北の縄文遺跡群の世界文化遺産登録に向けては推薦候補として、一度選定されたが自然遺産との兼ね合いにより国内推薦は得られなかった経緯があるが、さらに、関係機関との連携を図り早い段階での、推薦候補選定に向けて取り組んでいくとしています。これは30年度の事務事業評価シートですので、今年度、改めて推薦をいただいたところです。評価委員の意見提言については、関係機関と連携を図り、北海道北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録に向けて取り組んでいただきたいとの意見をいただきました。33ページです。主要施策ウ、文化財施設の充実で、取り組みの概要は、①充実した施設の運用で継続事業です。事業費、決算額はございません。達成度はA、予定通り実施することができました。課題と対応方向について、課題として利用者の増、定期的な展示替え、資料の収集で、地域の方々と連携し、定期的な展示替えや特定資料による特別展示の開催を周知により、利用者の増加や、次の世代に継承できるように、今後も資料の収集に努めるとしています。評価委員の意見提言については、貴重な郷土資料の適正な保存管理に努め、地域の方々などと連携しながら、施設利用者の増員に向けて取り組んでいただきたいと意見をいただきました。34ページです。主要施策エ、読書活動の振興、取り組みの概要については①読書環境・活動の充実、②読書感想画・読書紹介文募集事業の2点で継続事業です。実施状況②の読書感想画、読書紹介文の募集事業は、30年度74名74作品の募集をいただいています。事業費は読み聞かせ、図書室まつりの30年度決算額は3万5千円です。読書の家維持管理事業は、30年度決算額597万6千円。読書感想画紹介文の募集事業については、30年度決算額1万4千円です。評価②については、読書感想画と紹介文の募集事業については、洞爺湖ロータリークラブとの共催で継続実施をしているところです。虻田中学校全校の取り組みなどもあり、継続した取り組みが図られました。達成度はA、予定通り実施ができました。課題と対応方向は①の課題として施設の利用促進で、図書関連行事等の情報発信やサークルの支援に努めてまいります。②については応募者数の増ということで、共催団体と連携し、学校などへの働きかけに努めてまいります。評価委員の意見提言については、地域の利用者のニーズに沿ってさらに本に親しみやすい施設の環境を整えるなど、図書施設の利用促進に

取り組んでいただきたいとの意見をいただきました。35ページです。推進項目V、スポーツ活動の推進、主要施策ア、体育振興事業の充実です。取り組みの概要について、継続事業です。事業費①スポーツ大会教室の開催及び支援で30年度決算額について、123万8千円です。達成度はA、予定通り実施ができました。課題と対応方向は、体育事業の円滑な実施ということで、スポーツ推進員等との連携により円滑な体育事業の実施に努め、関係団体による合同会議の開催に向けて、継続的に取り組んでまいります。評価委員の意見提言については、町民の方々がスポーツに親しみ楽しんでもらえるよう、関係団体等と連携を図り、体育の振興に取り組んでいただきたい。またスポーツ振興基金については有効な活用を図られるよう執り進められたいとの意見をいただきました。36ページです。推進項目VI、社会教育施設及び社会体育施設の充実等でございます。主要施策ア 社会教育施設及び社会体育施設の整備ということで、取り組みの概要につきましては3点、①施設の維持管理、②旧洞爺湖温泉中学校体育館の有効活用の協議については継続事業です。③虻田小学校グラウンド照明設備設置については、新規となっています。事業費については、①社会教育施設の維持管理事業、30年度決算額1,524万円、特定財源その他について160万4千円で施設利用料です。体育施設運営事業で30年度決算額1,588万円、その他の特定財源66万円については施設利用料です。③虻田小学校グラウンドの照明設置事業については決算額702万円、特定財源その他660万円については起債となっています。評価③ですけれども少年団や消防団等の活動推進や点灯時に地域の防犯的役割を担い、指定緊急避難場として住民の安全確保や、災害応急対策においても有効な設備となります。達成度はA、既存の施設において必要な整備を行うことで、利用者の安全確保や設備等の充実が図られました。課題と対応方向については、②整備内容の協議ということで、体育館の整備に向けて協議を進めてまいります。評価委員の意見提言については、施設の適正な維持管理に努め、今後も利用促進に取り組んでいただきたいとの意見をいただきました。社会教育課の事務事業評価シートの内容については以上です。

#### **天野教育次長**

7ページに戻りまして、行政評価委員の皆さんから総括意見をいただいておりますので読み上げます。平成30年度の教育行政執行方針に基づき実施した事業を25区分の主要政策に分け、主な事務事業について各担当課の自己評価のもとに、第三者の立場から意見助言を申し上げました。評価対象の各種事務事業について、全体をとおして概ね予定通り実施されており、課題を的確に捉え、課題の解決に向けた取り組みを進めていることが見て取れます。このたびの評価をとおして、特に次の点について申し上げます。1点目は中学校における団体の部活動が種目により1校単独あるいは町内の学校が合同しても活動ができない状況にあることから、行政区域を越えた広域的な活動など、何らかの対応を検討する必要があると考えます。2点目は、町内教育施設が全般的に老朽化してきており、本町の将来を見据え、安全安心かつ適切な維持管理が必要であ

ると考えます。3点目は、近年、各種事務事業で必要とする嘱託職員等の確保が厳しい状況が続いています。何とか確保して事務事業を進めている現状を踏まえ、嘱託職員等の確保のあり方についての検討や各種事務事業の更なる工夫を図りながら、本町の教育行政が1歩でも2歩でも前進することを希望します。以上でございます。

#### 皆見教育長

ありがとうございました。今事務局のほうから25区分の事業について、説明がありました。推進項目ごとに区切って、質疑を受けたいと思いますが、よろしいでしょうか。

《「はい」という人あり》

それでは8ページから11ページまでの推進項目Ⅰ、幼児期の保育及び教育の推進について、質疑を受けます。

《「ありません」という人あり》

また、最後に総括質疑の時に時間も設けますのでよろしくお願いします。

12ページから23ページまでの推進項目Ⅱ、学校教育の推進について、質疑を受けます。

#### 岡本委員

14ページです。町独自の検定料助成で、受験者数及び受験率があまり高くないようですが、小学生から漢字検定を取り組ませていただけたらいいと思います。中学生になりましたら、漢字検定の受験を薦めても、それ以外の試験がありまして、漢字検定を受験する時間が取れない生徒が多いように思えます。小学生の時期は割と時間に余裕があるかと思しますので、小学生の時から意欲を持たせることが大切だと思います。いい勉強になりますし、6年生までの漢字を書くことができると、高校受験にも活かされると思います。有効なことです。中学生の受験率が今後、呼びかけをしても低いのであれば、小学生に声かけていただければいいのではないのかと思います。

#### 天野教育次長

この検定料の助成を導入した時、学習意欲を高めるためということで、とりあえず予算を中学生の生徒全員分の検定料の助成について、予算計上をした経緯があります。中学生から入って小学生に拡大したいという、もともとの思いがありまして、まず中学生から様子を見させていただき、もう少し受験者数や受験率を上げていけるように、学校への協力や働きかけをしながら、小学生まで拡大するというように考えています。現段階では何年度からというのは、お話しはできませんが、そのような経緯で検定料の助成事業を始めていますので、ご理解をお願いします。

#### 皆見教育長

よろしいですか。

#### 岡本委員

わかりました。

#### 皆見教育長

ほかにございますか。

#### 吉田委員

19ページのオ 高校教育の充実について、ただ一つ達成度Bですが、これについて評価委員さんからここに書いてある、意見・提言以外の意見など出ていましたか。高校教育に対して、以前にもお話をしていますけれども、道立高校ですが、この中に町が入って議論した方がいいのではないかと思います。最近、道立高校でコミュニティ・スクールをしているところがありますか。

#### 天野教育次長

道立高校にもコミュニティ・スクールはあります。学校が主体で行わなければならないことになります。小・中学校については、町教育委員会が町立小中学校ですので関わってしまして、虻田高等学校が主体となって実施ということになります。

#### 吉田委員

道立高校に働きかけをして、コミュニティ・スクールに教育長や管理課長がコミュニティスクールの委員になっている市町があると聞いたことがあるものですか。そういう形でもっと入り込んでいけば、話が進むと思います。

#### 皆見教育長

他の道立高校で、今お話しのお話の教育長などが、コミュニティ・スクールに入っているというケースがあるってということですか。

#### 吉田委員

公立高校の委員さんになってるとかあるってあると聞いてますので。

#### 皆見教育長

さきほどお話しのように、町が設置するものではないので、あくまでも学校が設置するものですのでその辺は、学校の意向が決定の事項になります。

ほかにございますか。

#### 岩原委員

18ページ、以前も地震等がありまして、その際にブロック塀の点検で、安全確保に努めていただいたところですが、今回実施されたことによって、危険箇所については、結構ありましたでしょうか。

#### 天野教育次長

通学路の関係ですが、別にお配りの資料の表紙の2枚目、A3の一覧を開いていただけますか。一覧には、通学路等の現状や今後の改善箇所などを記載していますが、課題はあります。その箇所の確認をしていただき、歩道の設置箇所について、安全確保のために設置箇所の変更の検討をしています。改善できるかどうかも含めて、町でできるものは、各所管課と協力して改善していくこととなります。国や道へ要望しなければならないものもあります。信号機の設置場所の変更については、要望をしてもすぐには対応していただけない状況です。構成の委員の皆さんでの共通認識を図りながら対応しています。通学路だけではなく、国道、道道、町道を全部見てもらい、改善できる箇所は改善するというので、今年度については、8月1日に合同で点検をしています。

### 吉田委員

難しいのはわかりますが、虻田小中学校の校区に関してですが、20年前とあまり変わっていないように見えます。警察との調整もありますし、難しいことはある程度理解はできます。

### 皆見教育長

T字路で民間の住宅やアパートが影になって、視界が悪い箇所も多々あります。その箇所をどう改善するというのは、最終的にその地権者が建物の移設や取り壊しをしてくれない限り、解決はできませんので。今すぐにはできないことですので、やはり長期的にお願いをしていくとか、まちづくり全体の話にもなってくるので。それ以外の対策で、例えば危険箇所にはミラーの設置、一時停止の標識の設置、子供飛び出し注意の看板の設置など注意喚起の標識の設置について、実施できるところは、なるべく速やかに実施しています。長い目で見なければならぬ箇所もありますので、その点についてはご理解いただきたいと思います。

### 吉田委員

わかりました。

### 来栖委員

20ページの虻田中学校の煙突はどのような状況でしょうか。今年は予算がないので、とりあえず去年のストーブのままなのでしょうか。

### 天野教育次長

虻田中学校の煙突については、アスベストのことがありますので飛散しないように囲い込みの対策をしています。個別暖房を全室に入れて対応しています。とうや小学校体育館の暖房は、今年発注しています。受注発注ですので約4か月かかります。とうや小学校の煙突は、暖房機の設置と併せて直すことにしています。

### 岡本委員

16ページをお願いします。世界遺産を受けた縄文の勉強や教育について、授業の取り入れる予定はありますか。

### 皆見教育長

やはり、洞爺湖町の財産としてジオパークそれから北海道北東北縄文遺跡群ということで、これはやはり子供たちにそういった教育をする必要が私もあるかと思っておりますので、その点については、学校のほうとまだちょっと授業日数の関係だとかいろいろとございます。いずれにしても、地域のふるさとを愛する教育っていうその一環になってくるのかなっていう気がします。

### 天野教育次長

出前教室ということで、社会教育課の担当が各学校へ出向いて実施しています。学校へ縄文に関する授業を出前授業で、引き続き進めていくことになると思います。

### 皆見教育長

それにちょっと関係することなのかもしれないですけども、せんだって

ある学校の校長先生とお話ししたことがあって、小学校の先生ですけども、教育と福祉のコラボをできないだろうかという話をされたことがあるんですね、私も教育委員会に来る前は、福祉の担当だったものですから、先生、それいいねと。やっぱり子供たちに小さなうちからそういった福祉のことについて教えていくと、やはり子供も大人になってから、すんなりとその分野に入っていけると。大人になっていざボランティアやってくださいと言ってもなかなかできない。でも小さな子供のうちからそういった経験をすることによって、入りやすくなるし、取り組みやすくなる。そのあたりは、やはり小さい時からの教育が大事なんだという話になりまして、何か機会があれば、1回そういったことも検討してみたいという話をしたことがあります。例えばエレベーターに車椅子の人と一緒に乗ったときに、延長ボタンを押してあげて、車椅子を受け入れる時間を設けてあげる。それも一つの福祉なんですよ。福祉とは何だろうと考えたときに、難しくない、普段の自分が何かをしてあげようという気持ちではなくて、今、どうすればこの人たちはこの今の現状について、理解していただけるのか、良くなるのか、そこは考えて、福祉でないかなと私も常日頃から思っているものですから。あえて何かをするというわけではなくて。そういったことを、小さな子供の頃から教育の一環として教えることができないだろうかということで、今後、わかりませんが、そういった取り組みも検討してみたいなと思っています。

それと併せて防災教育ですね。洞爺湖町は有珠山噴火という大きな災害を抱えている町ですので、子供たちには、避難所運営を模擬体験することができるゲームのHUGですとか、さまざまなことを体験、経験をしていただき理解していただくことは必要ですので、これについては、今後も授業を継続していきたいと思っています。ほかにございますか。

《「ありません」という人あり》

#### **皆見教育長**

それでは、24ページから29ページまで、推進項目Ⅲ、社会教育の推進について、質疑を受けます。

#### **吉田委員**

26ページ、学校支援ボランティアの登録が46組とありますが、登録した方は、それぞれで活動はされているのでしょうか。

#### **永井教育参与**

登録をいただいている全ての方が活動をしているという状況にはまだありません。登録をいただいている方が得意とする分野に登録をいただいています。学習支援で、例えば噴火活動に詳しい方に授業をお願いし、総合学習の授業で学校から依頼をするというのがあります。それ以外には、放課後の見守りですとか、花壇の整備ですとか、いろいろな分野で登録をいただいています。できれば登録をいただいた方、全ての方に協力をいただければいいですけどもまだそこまでには至ってはいないです。

#### **吉田委員**

地域の方々に活躍をしていただければ、素晴らしいものになるのではと思います。

#### **岡本委員**

学校支援ボランティアに私も初めて出させていただきました。学校からこういうことにお手伝いをお願いしたいということコミュニティ・スクールとの連携でお願いできればいいのかなと思います。コーディネーターみたいな方が各学校や各地区で居ていただかないと、全部を社会教育で対応することはとてもできないので、その地域でちょっとずつでもいいので進めていけるとコミュニティ・スクールのほうも充実していけるとと思います。

#### **永井教育参与**

参考にさせていただきます。

#### **岡本委員**

支援していただきたいことがありますし、誰かいらないかなと思います。

#### **皆見教育長**

これからコミュニティ・スクールのあり方が重要になってくる時期にも来ていると思うので、いざ立ち上げたら何をやるのか、それが1番重要だと思います。今ありましたご意見を参考にしながら、今後の進め方を考えていきたいと思っています。ほかにございますか。

#### **吉田委員**

27ページの書道教室の開催は初めてということで非常に素晴らしいことだと思いますけれども、参加する方の年齢層は、割と広い年齢の方ですか。

#### **永井教育参与**

参加者は、40代から60代の方です。

#### **吉田委員**

できるだけ、今の30代の子育て世代の方にも参加していただけるように、仕組みを作っていただければと思います。そうすれば横のつながりも出てきて、次のページの女性団体とのつながりが出てくるかと思っていますので工夫して実施していただければと思います。

#### **岡本委員**

25ページと29ページとの兼ね合いになるかと思いますが、25ページの洞爺湖GENKIDSの登録者数が32名、29ページのいきいき学園の登録者数が40名ということで、やはり高齢者の方たちが元気に参加されてるのかなと思います。内容もいろいろと工夫されて楽しく参加しているかと思いますが、2年目、3年目となると内容が重なってくると思います。高学年になるに連れて、今回は行きたくないなというのが出てくるので、隔年でできる内容にさせていただけたらと思います。子供たちも1年経つと、また新鮮味も出てくるかと思っていますので。内容について、検討していただきたいと思っています。

#### **皆見教育長**

ほかにございますか。よろしいでしょうか。では次に進みます。

《「ありません」という人あり》

30ページから34ページまでの、推進項目Ⅳ芸術文化の振興について、質疑を受けます。

#### 吉田委員

33ページの郷土資料館について、虻田地区の郷土資料館は母と子の館の向かいにありますね。洞爺地区の郷土資料館というのはどこにありますか。

#### 永井教育参与

元診療所の跡地にあります。ふるさと交流センターの名称で、元の診療所を改修して、その施設の1階は高齢者の方がサロンスペースとして一部を使っていますけれども、1階の一部と2階のスペースに郷土資料を全部入れて展示しています。その地域の方のアドバイスを受けながら展示をして、用具の解説版ですとか、その解説資料ですとかを地域の方とつくりあげたという経緯があります。

#### 吉田委員

先日、倶知安町の美術館を見に行ったら、入場券が郷土資料館と共通だったものですから、郷土資料館も見に行ってきました。そうすると結構外国人の方が珍しがってしまして。誰もお客さんいないのではないかと思っていましたが、結構な人数の方が見学していて、洞爺湖町もこれだけ観光客の方いるので、いろいろな結びつけを考えればもっといろいろな方に素晴らしいものを見ていただけるのではないのかなと思うものですから。

#### 永井教育参与

虻田地区の場合は、貝塚館と郷土資料館共通のチケットになっています。町民の方は無料で、町外から来ていただいた方は共通券なっていますので貝塚館と郷土資料館を見に行ってください。洞爺地区の郷土資料館は町外者、町内者ともに無料です。

#### 岡本委員

常時空いているわけではないですよ。

#### 永井教育参与

管理人はいませんが、見学については、自由に見ていただくようにしています。開館、閉館時の鍵の開け閉めは、常駐していただける方がいないので、社会福祉協議会にお願いしています。団体での見学の場合は、依頼があれば学芸員が出向いています。普段、何も無い時は、自由に見学していただくようにしています。

#### 岡本委員

知らなかったです。郷土資料館の分かる看板はありますか。

#### 永井教育参与

ないと思います。

#### 岡本委員

オープン間もなく、イベントをしてもらっていましたが、それ以来は一度も見学してなくて。移転前は学校でも利用していたはずなんですけど、新しくなってからは行っていませんよ。

#### 永井教育参与

学校で行っているとは聞いてはいないです。入口に説明書きをさせていただいていますが、休日の場合や団体での見学が必要な場合は連絡をしていただくよう対応しています。

#### 岩原委員

芸術館あたりに郷土資料室がわかる看板を置いてはどうですか。逆に郷土資料館に芸術館の場所がわかる看板を置いて、相互に行き来できるものがあるといいですね。共通券ではないですが、いいかもしれないですね。

#### 来栖委員

郷土資料館に置くよりも、水の駅に、大きいポスターなどを置いたほうがいいのではないのでしょうか。そうしたら地元の野菜を売っている方々へお客さんが聞けるからいいかなと思います。

#### 皆見教育長

ありがとうございます。ほかございますか。35ページ推進項目V スポーツ活動の推進についてはよろしいですか。

《「はい」という人あり》

36ページ、推進項目VI、社会教育施設及び社会体育施設の充実等についての質疑を受けます。

#### 吉田委員

旧洞爺湖温泉中の体育館については、具体的な話については、まだ決まっていらないということですか。

#### 永井教育参与

方向性はもう決まっています。方向性というのは、校舎は解体となりまして、体育館は耐震化工事を行っているので一時避難所の役割もありますので残すこととなります。地域検討会議において方向性は決まっています。

#### 吉田委員

緊急時以外は体育館として使うということですか。

#### 永井教育参与

体育館でするので体育施設として体育事業や文化事業などに活用していくということで継続していくということになります。今年度も地域検討会議で継続して実施していただいて、地域の方の意見も取り入れながら、今は施設活用計画を作っていて、大体はもうでき上がってはいますけれども、昨日、最終になるかと思いますが、最後に役場庁舎内のプロジェクトで最終的な活用計画を策定するということとなります。

#### 吉田委員

体育館は活用して使うということですね。

#### 永井教育参与

来年度の校舎の解体の設計は終わっています。校舎の解体工事と体育館の設計については、来年度の予算で盛り込む予定です。校舎は解体後、更地となり、駐車場が足りていないので、イベント等で駐車場として使用することになると

思います。

**皆見教育長**

体育館として使いますけれども、やはり水回りはもう一回やり直さなければなりません。多目的トイレや和室のトイレですとか。更衣室などの床も全面改修しなければならないです。改修費はかかります。やはり計画立てていますので予算付けしながら、計画の内容に沿って整備していかなければならないものですから。いずれにしても、基本的な方向性が出ましたので、それに向けてですね、これから肉付けしていきまして、議会、町民の皆さんに最終説明をしていくというような段取り今考えています。ほかございますか。よろしいですか。

《「はい」という人あり》

全体を通して質疑を受けます。7ページの行政評価委員の総括意見を含めて、全体を通して最終的な質疑や意見等をいただきたいと思いますが、いかがですか。

**吉田委員**

3点とも最も意見ですね。

**皆見教育長**

それでは議案のとおり議決することにご異議ありませんでしょうか。

《「なし」という人あり》

異議なしと認めます。

議案第22号、令和元年度（平成30年度）対象教育委員会の点検評価については、原案のとおり可決をされました。

日程第6、その他です。皆様から何かございますか。

《「ありません」という人あり》

事務局のほうからございませんか。

**天野教育次長**

ありません。

**皆見教育長**

以上で、洞爺湖町教育委員会令和元年第3回臨時会を終了します

日 程 第 6  
【 そ の 他 】

日 程 第 7  
【 閉 会 】

15 : 18 閉会